

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201030100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	学校給食運営事業		予算事業名	学校給食運営事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	宮本 真由子
取組み事項		学校給食の充実と食育の推進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		学校給食食育推進事業		学校給食運営事業			
根拠法規及び関連法規		学校給食法(昭和二十九年六月三日法律第百六十号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒及び保護者					
	誰(何)を対象として	園児、児童、生徒の健康増進、保護者の負担軽減					
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校給食による園児、児童、生徒の体と心の健全な育成					

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	給食実施回数	回	183	183	186	185

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	8.204	6.571	80	6.128	93	7.084	116	
	臨時職員	27.630	21.308	77	23.076	108	22.591	98	
支出内訳	人件費	131,327,552	105,410,867	80	108,449,200	103	120,835,078	111	
	事業費	123,143,606	128,259,995	104	123,050,849	96	126,524,000	103	
	合計	254,471,158	233,670,862	92	231,500,049	99	247,359,078	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		97,500	-	89,350	92	60,000	67	
	一般財源	254,471,158	233,573,362	92	231,410,699	99	247,299,078	107	
合計	254,471,158	233,670,862	92	231,500,049	99	247,359,078	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給食喫食者数							
指標説明(式)		給食喫食園児・児童・生徒数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2439	2490	102.1	2453	98.5	2440	99.5	
	実績	2375	2594	109.2	2576	99.3			
指標名2		給食無料化による経費							
指標説明(式)		給食費を無料化したことによる保護者の負担軽減額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	106352000	-	
	実績	102072886	107392113	105.2	104131830	97.0			

【効率性】

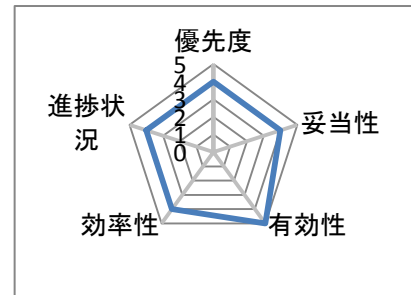
指標名1		給食の実施割合							
指標説明(式)		給食実施日数÷授業日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	92.96	91.5	98.4	93.5	102.2	92.96	99.4	
	実績	91.96	91.96	100.0	92.54	100.6			
指標名2		新メニュー導入数							
指標説明(式)		給食へ新メニューを導入した品目数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
品	目標	-	-	-	-	-	27	-	
	実績	15	21	140.0	24	114.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地産地消給食等メニューコンテストにおける「近畿農政局長賞」の受賞や、南三陸町との連携による「東北復興支援の献立」を実施することで、地産地消や食育の推進を図った。	5
	上位施策への貢献度	兵庫県下で唯一、幼稚園・小・中学校給食完全無償化を実現しており、子育て世代に対する定住促進施策の一助となっている。	
効率性	執行体制の効率性	給食員の適正配置や配送運搬ルート及び配送時間の見直しをすることで、給食調理・配送体制の効率化を図った。	4
	手段の最適性	学校間の調理方法等を、給食部会に各校が調理した給食1品を持ち寄り、調理方法や味付けについて他校の調理と自校の調理を比較し、味・調理方法の統一化に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	給食業務の管理体制を強化し、材料等の発注数の精査によりコストの削減を徹底する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	アレルギー対応マニュアルの改訂に伴い、確実な学校給食における食物アレルギー対応を行うための体制を構築する。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201040100	事業の種類	5
年度	29	事務事業名	学校支援地域本部事業	予算事業名	学校支援地域本部事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		家庭・地域・学校の連携を深める		担当者名	勝山 護
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童、中学校生徒			
	誰(何)を対象として	小学校児童、中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民による学校支援活動を行い、地域全体で学校教育を支援する体制を整備する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	実施小中学校数	学校数	10	10	10	10
	ボランティア登録者数	人	757	667	685	700

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.080	0.064	80	0.064	100	0.060	94	
	臨時職員	0.412	0.600	146	0.448	75	0.456	102	
支出内訳	人件費	1,981,642	2,394,866	121	2,045,096	85	2,114,704	103	
	事業費	198,287	234,900	118	247,100	105	254,000	103	
	合計	2,179,929	2,629,766	121	2,292,196	87	2,368,704	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	456,000	496,000	109	495,000	100	509,000	103	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,723,929	2,133,766	124	1,797,196	84	1,859,704	103	
合計	2,179,929	2,629,766	121	2,292,196	87	2,368,704	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施小中学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2		ボランティア登録者数							
指標説明(式)		ボランティア登録者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1000	800	80.0	700	87.5	700	100.0	
	実績	757	667	88.1	685	102.7			

【効率性】

指標名1		実施校一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷実施学校数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	279041	269495	96.6	271839	100.9	236870	87.1	
	実績	217992	262976	120.6	229219	87.2			

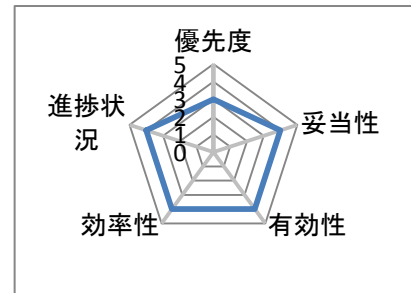
指標名2		登録ボランティア一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷ボランティア登録者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2790	3368	120.7	3883	115.3	3383	87.1	
	実績	2879	3942	136.9	3346	84.9			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録ボランティアは年々減っている。	4
	市民サービス	ボランティアによるさまざまな学校支援活動を通じて、児童生徒への支援を行う	
効率性	手段の最適性	ボランティアの登録は、学校を通じて行った	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	組織運営・適正管理	登録ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	ボランティアに地域住民が入ることにより、地域の教育力を活性化することができる。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010100		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎義正	担当者名	森田敏雄
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する児童の保護者					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	対象人員	人	11	16	19	22	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.084	0.094	112	0.094	100	0.094	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	973,742	1,056,716	109	1,096,604	104	1,088,916	99	
	事業費	324,968	344,086	106	598,158	174	1,037,000	173	
	合計	1,298,710	1,400,802	108	1,694,762	121	2,125,916	125	
財源内訳	国庫支出金	162,000	172,000	106	299,000	174	518,000	173	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,136,710	1,228,802	108	1,395,762	114	1,607,916	115	
合計	1,298,710	1,400,802	108	1,694,762	121	2,125,916	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

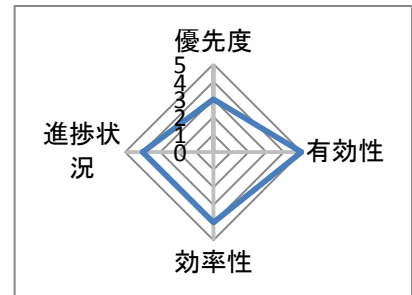
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	普通学級の補助対象者についても、学校及び学校教育課と連携し情報の把握に努めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校、他課と連携し、制度の周知等、必要な情報を速やかに各学校及び補助対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010200		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業		予算事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業 優先度	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎義正		担当者名	森田敏雄
取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する生徒の保護者					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	対象人員	人	6	6	5	6

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.084	0.094	112	0.094	100	0.094	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	973,742	1,056,716	109	1,096,604	104	1,088,916	99	
	事業費	311,487	229,145	74	246,079	107	401,000	163	
	合計	1,285,229	1,285,861	100	1,342,683	104	1,489,916	111	
財源内訳	国庫支出金	156,000	114,000	73	114,000	100	200,000	175	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,129,229	1,171,861	104	1,228,683	105	1,289,916	105	
合計	1,285,229	1,285,861	100	1,342,683	104	1,489,916	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

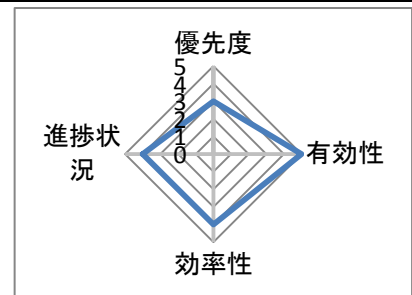
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	普通学級の補助対象者についても、学校及び学校教育課と連携し情報の把握に努めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校、他課と連携し、制度の周知等、必要な情報を速やかに各学校及び補助対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010300		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	指定教育等研究研修事業		予算事業名	指定教育等研究研修事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	岡田 真也
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		指定教育等研究研修事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒及び教諭					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒及び教諭					
	意図(どのような状態にしたいのか)	教諭の研修による資質の向上による適正な学校管理運営を図る。障害児用・教師用教科書図書を補充する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学校児童・生徒、障害児の教育指導及び教師の研修による資質の向上を図り、適正な学校管理運営を推進する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	研修会	回	84	85	84	84
	参加人数	人	4204	4293	4243	4200

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.128	94	0.128	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,393,034	1,404,470	101	1,390,624	99	1,393,184	100	
	事業費	8,551,055	5,545,709	65	562,939	10	2,538,000	451	
	合計	9,944,089	6,950,179	70	1,953,563	28	3,931,184	201	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,944,089	6,950,179	70	1,953,563	28	3,931,184	201	
合計	9,944,089	6,950,179	70	1,953,563	28	3,931,184	201		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修会1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		参加述べ人数/実施回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	55	60	109.1	60	100.0	60	100.0	
	実績	51	51	100.0	51	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

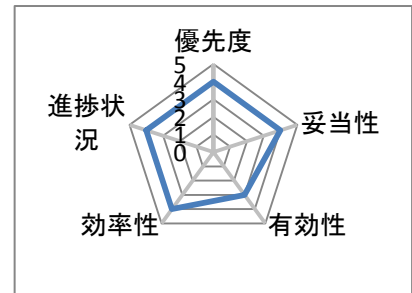
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	計画的な研修の実施により教職員の資質向上に有効であった。	3
	市民サービス	保護者の要望等に対応できる教職員の資質向上に貢献できた。	
効率性	執行体制の効率性	教職員それぞれが効率よく職務を遂行できる体制の確立を図ることができた。	4
	コストの節減	各種指導書等の必要数を精査し、コスト削減に繋げた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	計画的に見直しを行い、有効な事業を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	平成30年度より教科化となった小学校道徳について、指導書の購入及び研究による指導体制の確立を目指す。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010700		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	小学校一般事務経費	予算事業名	教育振興費事務経費	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		教育用パソコン更新					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童					
	誰(何)を対象として	小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクールの実施に伴う消耗品の支出、コンピューター、インターネット維持管理。学校図書館活性化事業委託による小中学校図書室運営。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	学校図書館従事者配置校数	校	7	7	7	7	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.248	0.216	87	0.336	156	0.336	100	
	臨時職員	0.184	7.132	3,876	7.663	107	7.366	96	
支出内訳	人件費	2,664,286	20,569,110	772	23,148,702	113	23,946,020	103	
	事業費	28,524,995	29,110,210	102	36,346,576	125	46,442,000	128	
	合計	31,189,281	49,679,320	159	59,495,278	120	70,388,020	118	
財源内訳	国庫支出金		444,000	-	350,000	79	350,000	100	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	31,189,281	49,235,320	158	59,145,278	120	70,038,020	118	
合計	31,189,281	49,679,320	159	59,495,278	120	70,388,020	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者勤務日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	111	123	110.8	123	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

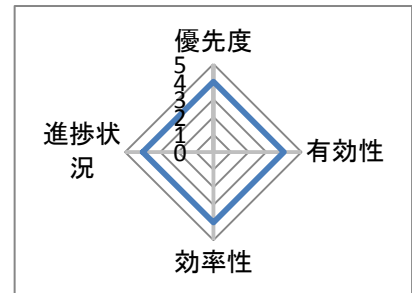
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	4
	組織運営・適正管理	学校教育において適正に、予算の配分及び執行が行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	図書購入費の増額配当により、各校の蔵書率は改善が見込まれるが、児童の図書室の本の利用率向上に向けた取組みを要する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	読書活動推進事業として、学校図書館業務従事者を中心に、図書とふれあう機会の拡充に努める。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010900		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	中学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクール、の実施及び音楽会参加に伴う消耗品等の支出、コンピューター、インターネット維持管理。学校図書館活性化事業委託による学校図書室運営。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	学校図書館従事者配置校数	校	3	3	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.180	0.148	82	0.312	211	0.312	100	
	臨時職員	0.180	1.134	630	0.744	66	0.184	25	
支出内訳	人件費	2,145,434	4,419,944	206	4,738,824	107	3,344,072	71	
	事業費	10,753,979	16,386,347	152	19,094,153	117	19,151,000	100	
	合計	12,899,413	20,806,291	161	23,832,977	115	22,495,072	94	
財源内訳	国庫支出金		553,000	-	600,000	108	600,000	100	
	県支出金		188,000	-	237,000	126	237,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他		222,540	-	209,610	94	237,000	113	
	一般財源	12,899,413	19,842,751	154	22,786,367	115	21,421,072	94	
合計	12,899,413	20,806,291	161	23,832,977	115	22,495,072	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	40	40	100.0	40	100.0	40	100.0	
	実績	37	30	81.1	40	133.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

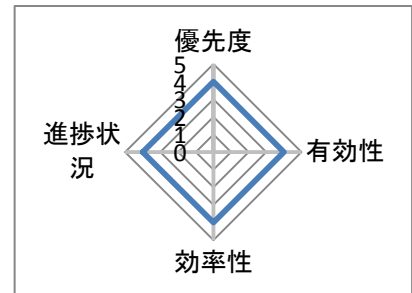
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ICT機器の活用等により、中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	4
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	各校の需要に応じた予算配当により、学校規模や地域性等に見合った事業を実施できた。	4
	執行体制の効率性	教材消耗品、教材備品、図書購入費等、各学校の現状及び目的に沿った予算執行が適正に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	PC教室のソフトウェア及び、プロジェクター等の周辺機器の活用率が低調である。 生徒が読書にかかる時間数が低調である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	ICT機器導入業者と連携し、通常授業でのICT機器活用を促進する。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業		予算事業名	外国人英語指導助手招致事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	実施日数	日	225	226	220	220

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.324	0.292	90	0.120	41	0.120	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	2,870,182	2,652,926	92	1,402,632	53	1,409,192	100	
	事業費	5,042,006	4,594,366	91	4,941,172	108	5,470,000	111	
	合計	7,912,188	7,247,292	92	6,343,804	88	6,879,192	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,912,188	7,247,292	92	6,343,804	88	6,879,192	108	
合計	7,912,188	7,247,292	92	6,343,804	88	6,879,192	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	225	225	100.0	225	100.0	220	97.8	
	実績	225	226	100.4	220	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

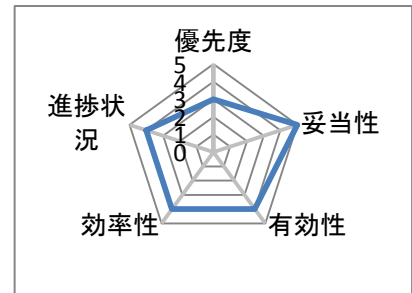
指標名1		生徒1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷生徒人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8579	8563	99.8	9403	109.8	8809	93.7	
	実績	7616	7398	97.1	7957	107.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒への効果的な英語指導が実施でき、外国人とのコミュニケーションの抵抗感が軽減された。	4
	市民サービス	生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。学び塾の講師参加により、小学生から英語への興味関心を高めることができた。	
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手によるネイティブの英語学習を効率的に実施することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校によりALTの配置時数に偏りがみられる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校間差を解消するために、適正なALTの配置を検討していく。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011300	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	ぐんぐん学力アップ事業	予算事業名	ぐんぐん学力アップ事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣
				担当者名	木本 博子
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒			
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童生徒の学力の状況を把握し、各小・中学校で学力向上の取り組みを推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		全国レベルの標準学力検査(小学校4、5年 国語・算数、中学校1、2年 国語・数学・英語)を実施し、児童生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各小中学校での学力向上の取り組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	対象者数	人	662	879		905

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.248	0.248	100	0.152	61	0.152	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	2,220,942	2,237,962	101	1,565,320	70	1,572,520	100	
	事業費	711,724	959,040	135	807,480	84	854,000	106	
	合計	2,932,666	3,197,002	109	2,372,800	74	2,426,520	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,932,666	3,197,002	109	2,372,800	74	2,426,520	102	
合計	2,932,666	3,197,002	109	2,372,800	74	2,426,520	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童・生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷児童・生徒数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	674	1361	201.9	1054	77.4	905	85.9	
	実績	1075	1091	101.5		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

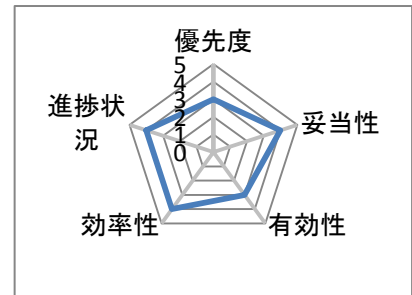
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況を把握し、学習能力の向上を図ることに努めた	3
効率性	執行体制の効率性	標準学力検査を利用し、効果的に児童・生徒の学力向上を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	小中一貫教育の視点で標準学力調査結果を活用していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	小中一貫教育の視点で標準学力調査結果を活用していく。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011800		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	英語教育推進事業		予算事業名	英語教育推進事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒						
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼児期から小・中学校まで、発達段階に応じた英語教育を充実し、英語によるコミュニケーション能力を養う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		英語教育の専門家の監修やアドバイスを受けながら、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じた体系的な取り組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	FLT勤務日数(2名)	日		288	300	285

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.136	-	0.136	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		348,426	-	1,420,760	408	1,422,648	100	
	事業費			-	7,414,770	-	7,422,000	100	
	合計		348,426	-	8,835,530	2,536	8,844,648	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		348,426	-	8,835,530	2,536	8,844,648	100	
合計		348,426	-	8,835,530	2,536	8,844,648	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1園あたりの平均勤務日数							
指標説明(式)		FLT勤務日数÷6園							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標		48	-	50	104.2	48	96.0	
	実績		48	-	50	104.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

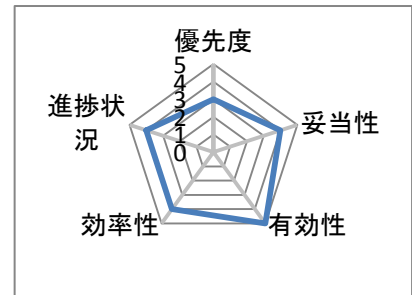
指標名1		児童1人あたりのコスト							
指標説明(式)		外国語指導助手派遣委託料額÷園児数(385名)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標		17000	-	17850	105.0	19532	109.4	
	実績		16440	-	19260	117.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	中学校卒業までの期間で、話す・聞くなど実践型の生きた英語に親しみ、コミュニケーション能力を養う。	5
	成果の向上	園児・児童の実態を踏まえた長期的な目標に見合った指導の実現を目指す必要がある。	
効率性	手段の最適性	教育の効果を高めるために、幼稚園、小学校については同じ委託業者の講師が継続して指導にあたっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	FLT派遣委託3年契約の3年目となり、平成31年度以降の契約に向けた検証を行う。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0102020200		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	ふれあいものづくり事業		予算事業名	ふれあいものづくり事業 優先度 -		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	岡田 真也
取組み事項		豊かな心の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童と高校生						
	誰(何)を対象として	小学校児童と高校生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童と高等学校生徒との協働してのものづくりにより、こころ豊かな人間形成を図り、高校生の指導力の向上及びものづくりを通して物の大切さ・想像力を育む。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		各小学校6年生が総合的な学習や理科等の授業時間に相生産業高等学校の生徒の指導を受けながら、ものづくりに挑む。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	参加児童数	人	207	212	243	227

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.268	0.260	97	0.120	46	0.120	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100		0		-	
支出内訳	人件費	2,380,658	2,338,810	98	1,297,272	55	1,295,512	100	
	事業費	100,000	100,000	100	125,000	125	125,000	100	
	合計	2,480,658	2,438,810	98	1,422,272	58	1,420,512	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,480,658	2,438,810	98	1,422,272	58	1,420,512	100	
合計	2,480,658	2,438,810	98	1,422,272	58	1,420,512	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

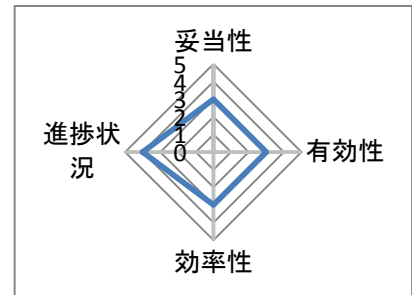
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童と高等学校生徒とのものづくりをとおして、こころ豊かな人間形成を図った。	3
	期待する目標	子ども達自身に製作意欲を持たせ、高等学校生徒と協働してものづくりに取り組むことができた。	
効率性	コストの節減	製作コスト削減に努め、必要最低限の費用で実施した。	3
	手段の最適性	子ども達自身に製作意欲を持たせ、限られた時間の中で積極的に取り組めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	相生産業高校の予算及び時間が制限されることにより、廃止または縮小に向けた協議を要する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	相生産業高校と本年度以降の事業の実施方法等について協議する。

配点	32.5
総合評価	14.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020300		事業の種類	5		
年度	29	事務事業名	小学校体験活動事業		予算事業名	小学校体験活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	岡田 真也
取組み事項		豊かな心の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童3年生・5年生						
	誰(何)を対象として	小学校児童3年生・5年生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動をとおり自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動をとおり自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	参加数	人	436	482	446	473	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.152	0.152	100	0.104	68	0.104	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,532,898	1,545,886	101	1,173,784	76	1,168,376	100	
	事業費	6,570,000	6,620,000	101	6,570,000	99	6,620,000	101	
	合計	8,102,898	8,165,886	101	7,743,784	95	7,788,376	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,272,000	3,494,000	107	3,272,000	94	3,308,000	101	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,830,898	4,671,886	97	4,471,784	96	4,480,376	100	
合計	8,102,898	8,165,886	101	7,743,784	95	7,788,376	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

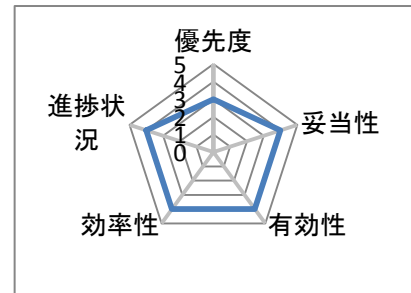
指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15069	13649	90.6	14633	107.2	13996	95.6	
	実績	15069	13737	91.2	14731	107.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4
	期待する目標	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	計画的に行事を実施することにより、適正な実施をすることができた。	4
	手段の最適性	期間、場所など最適の環境の中で実施された。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な事業計画・予算執行に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各校の状況に応じた予算配分を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020400	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	心豊かな体験活動推進事業	予算事業名	心豊かな体験活動推進事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒			
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の社会体験により社会的自立の高揚と健全育成を目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	心肺蘇生法実践研修、トライやるウィーク事業による社会体験実施により、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」を育む。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	トライやるウィーク参加人数	人	222	213	200	200

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.164	0.152	93	0.120	79	0.120	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,602,530	1,525,030	95	1,297,272	85	1,295,512	100	
	事業費	1,975,940	1,694,550	86	1,718,946	101	1,778,000	103	
	合計	3,578,470	3,219,580	90	3,016,218	94	3,073,512	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,050,000	900,000	86	900,000	100	900,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,528,470	2,319,580	92	2,116,218	91	2,173,512	103	
合計	3,578,470	3,219,580	90	3,016,218	94	3,073,512	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	トライやるウィークアンケート結果(生徒)								
指標説明(式)	充実感を感じた者数 ÷ 生徒数(2年生)								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	95	98	103.2	94	95.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

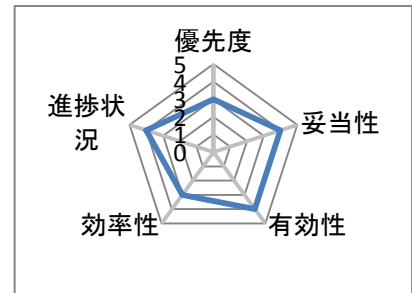
指標名1		トライやるウィークアンケート結果(事業者)							
指標説明(式)		生徒に変化が見られたと感じた事業者数/事業者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	70	116.7	70	100.0	70	100.0	
	実績	73	72	98.6	77	106.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の社会体験としては十分に目標達成している。	4
	市民サービス	市民の参画と協働を基盤に市民が一体となった教育の一環として機能している。	
効率性	手段の最適性	1週間の限られた期間内に成果があった。	3
	手段の最適性	短期間のため、安全面等考慮したものとしては、充分である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	希望事業所で体験活動ができなかった生徒に、より高い意義を持たせる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	希望事業所で体験活動ができなかった生徒にも、充実感を持たせる。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020500		事業の種類	4				
年度	29	事務事業名	適応教室事業		予算事業名	適応教室事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課				
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣		担当者名	木本 博子	
取組み事項		豊かな心の育成を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒								
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒								
	意図(どのような状態にしたいのか)	小・中学校の不登校児童・生徒の指導・援護による学校復帰を図る。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	教育相談	件	12	13	19	12
	ふれあい教室	回	6	6	6	6

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.008	0.016	200	0.080	500	0.080	100	
	臨時職員		0.840	-	0.423	50	0.846	200	
支出内訳	人件費	405,110	2,658,866	656	2,102,734	79	3,382,004	161	
	事業費	2,098,109	2,092,102	100	2,121,926	101	2,182,000	103	
	合計	2,503,219	4,750,968	190	4,224,660	89	5,564,004	132	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,503,219	4,750,968	190	4,224,660	89	5,564,004	132	
合計	2,503,219	4,750,968	190	4,224,660	89	5,564,004	132		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふれあい教室活動							
指標説明(式)		年間活動回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

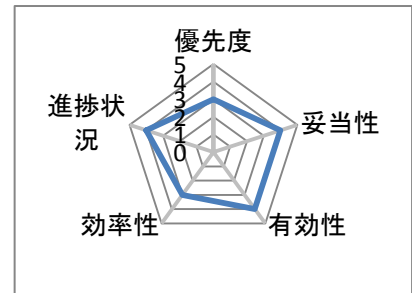
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	保護者への理解と協力が得られた。	4
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を得た。	3
	手段の最適性	子どもの特徴に応じた悩み相談、勇気付け、ふれあい教室への参加等により、学校復帰を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	市内の中心地にないため、校区によっては生徒の自力通学がしにくい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	児童・生徒や保護者の個々のニーズにできる限り対応していく。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020600		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	相生っ子かがやき顕彰事業		予算事業名	相生っ子かがやき顕彰事業 優先度	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	成績が顕著な個人・団体に対し、スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ、文化芸術の推進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に対して、相生っ子かがやき顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	贈呈数	人・団体	13	6	12	10

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.128	0.108	84	0.064	59	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,302,950	1,162,206	89	865,064	74	850,536	98	
	事業費	30,000	10,800	36	29,400	272	60,000	204	
	合計	1,332,950	1,173,006	88	894,464	76	910,536	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,332,950	1,173,006	88	894,464	76	910,536	102	
合計	1,332,950	1,173,006	88	894,464	76	910,536	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

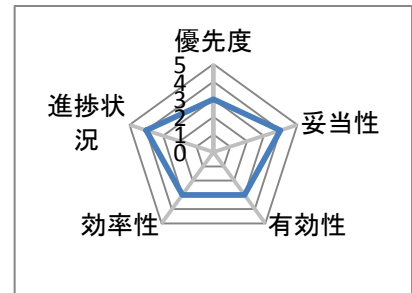
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ・文化芸術の推進を図った。	3
効率性	執行体制の効率性	表彰対象となる成績の優秀な個人又は団体の把握に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	表彰対象となる成績の優秀な個人又は団体の把握に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020700		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業		予算事業名	創意ある学校園づくり推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの豊かな成長を図ることを目的として、創意ある教育活動を展開する事業に要する経費について、補助を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かしたもので、事業を進めていくうえで、教職員、児童・生徒が一体となった主体的・創造的な取り組みが期待できる事業。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	補助件数	件	16	16	16	16	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.096	-	0.144	150	0.144	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	1,071,786	310	1,482,504	138	1,486,216	100	
	事業費	4,622,278	4,623,341	100	4,194,400	91	4,200,000	100	
	合計	4,967,532	5,695,127	115	5,676,904	100	5,686,216	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-	60,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,967,532	5,695,127	115	5,676,904	100	5,626,216	99	
合計	4,967,532	5,695,127	115	5,676,904	100	5,686,216	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助学校園数							
指標説明(式)		補助学校園数÷総学校園数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

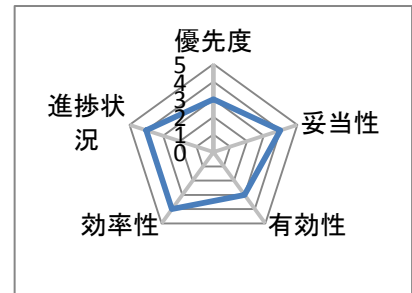
指標名1		1校当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷補助学校園数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	300000	100.0	262500	87.5	262500	100.0	
	実績	288892	288959	100.0	262150	90.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	特色ある教育活動への積極的な取り組みを行い、児童・生徒が楽しく学べる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校の具現化を図る。	3
	成果の向上	学校、地域の特色を生かした事業計画を教職員の積極的な提案により、計画することができた。	
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を学校園単位に実施した。また、中学校区毎に幼・小・中連携を目的とした事業を実施した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業開始から3年を経過したことに伴い、各学校園単位での事業内容の精査を要する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	これまで積み上げてきた実績や経験を残しつつ、中学校区毎の「めざす子ども像」に見合った新たな企画の立案・実施を進める。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030200	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	クラブ活動運営事業	予算事業名	クラブ活動運営事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		担当者名	木本 博子
		実施計画への記載		無	主要事業の指定
		無		無	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒			
	誰(何)を対象として	中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	クラブ活動をとおり、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後クラブ活動をとおり、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図ることを目的として日々鍛錬する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.150	0.150	100	0.152	101	0.152	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,467,554	1,478,676	101	1,544,248	104	1,549,784	100	
	事業費	2,397,868	2,349,148	98	2,458,948	105	2,126,000	86	
	合計	3,865,422	3,827,824	99	4,003,196	105	3,675,784	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,865,422	3,827,824	99	4,003,196	105	3,675,784	92	
合計	3,865,422	3,827,824	99	4,003,196	105	3,675,784	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

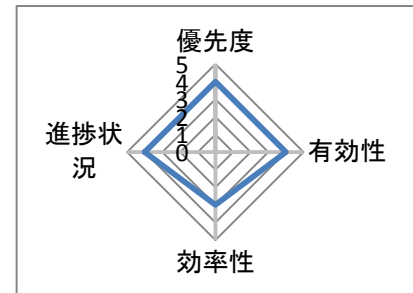
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	クラブ活動をととして、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	4
	組織運営・適正管理	クラブにおいて組織体制が適正に運営された。	
効率性	コストの節減	保守委託、賃借契約等により、楽器等の購入費の削減が図れた。	3
	執行体制の効率性	吹奏楽部の活動を市の行事等で発表する場を増やすなど、効率的な活動の実施ができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	生徒数・職員数にあった適正な部活動数の確保および指導體制の確保。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	部活動指導員の配置による成果の検証。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030300		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	学校教育ペーロン祭協賛事業		予算事業名	ペーロン祭協賛球技大会事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生徒の健康増進を目的として、ペーロン祭の協賛事業として実施する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西・中播磨の中学校の上位野球部、バレー部を招致し、協賛事業として実施する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	野球	チーム	15	15	15	15	
	バレー	チーム	56	56	54	0	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.144	100	0.144	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,452,890	1,464,750	101	1,514,112	103	1,520,320	100	
	事業費	735,900	725,900	99	735,900	101	491,000	67	
	合計	2,188,790	2,190,650	100	2,250,012	103	2,011,320	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	258,000	249,000	97	246,000	99	96,000	39	
	一般財源	1,930,790	1,941,650	101	2,004,012	103	1,915,320	96	
合計	2,188,790	2,190,650	100	2,250,012	103	2,011,320	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加校数							
指標説明(式)		中・西播磨中学校参加校による交流実績							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
校	目標	73	71	97.3	70	98.6	15	21.4	
	実績	71	71	100.0	69	97.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

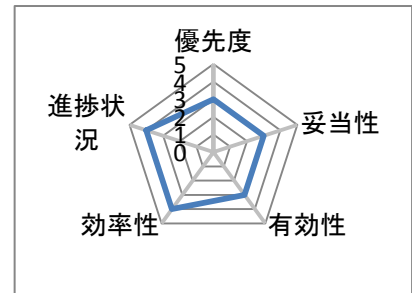
指標名1		参加校数によるコスト							
指標説明(式)		大会経費÷中・西播磨中学校参加校数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10219	10577	103.5	10729	101.4	32734	305.1	
	実績	10365	10224	98.6	10666	104.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町中学生との交流と普段の部活動の成果を發揮し、生徒の健全育成が図れた。	3
	市民サービス	近隣市町中学生との交流と生徒の健全育成が図れた。	
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を図れた。	4
	執行体制の効率性	中学校体育連盟と連携し、適正に運営することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	バレー大会廃止に伴う、コストの妥当性について検証する。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030400		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	学校体育振興事業		予算事業名	学校体育振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	974,042	982,510	101	1,020,160	104	1,011,776	99	
	事業費	4,498,674	4,818,443	107	4,554,820	95	5,403,000	119	
	合計	5,472,716	5,800,953	106	5,574,980	96	6,414,776	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,472,716	5,800,953	106	5,574,980	96	6,414,776	115	
合計	5,472,716	5,800,953	106	5,574,980	96	6,414,776	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況							
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による普段の部活動成果の向上の把握							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	22	12	54.5	14	116.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

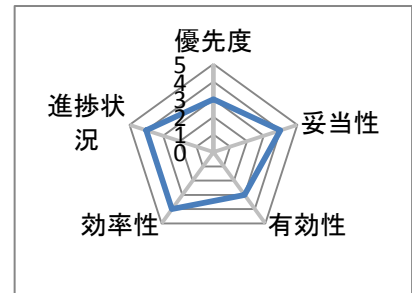
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童・生徒の健康づくりの推進及び体力向上を図った。	3
	市民サービス	健康づくり等の推進による児童・生徒の健全育成を図った。	
効率性	コストの節減	バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	中学校体育連盟と協議の上、過不足の無い予算の確保と執行体制を構築する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	部員の数や、大会会場へのアクセスを考慮したうえで、バス借上料と大会参加補助金を場合に応じて適正に支出する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030500		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	学校医等委嘱事業		予算事業名	学校医等委嘱事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和三十二年法律第二十六号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員					
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び園児並びに職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		園児、児童、生徒の健康管理のために学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.092	0.092	100	0.104	113	0.104	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,083,978	1,093,786	101	1,226,464	112	1,225,216	100	
	事業費	13,213,747	13,169,477	100	13,089,684	99	13,315,000	102	
	合計	14,297,725	14,263,263	100	14,316,148	100	14,540,216	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,297,725	14,263,263	100	14,316,148	100	14,540,216	102	
合計	14,297,725	14,263,263	100	14,316,148	100	14,540,216	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

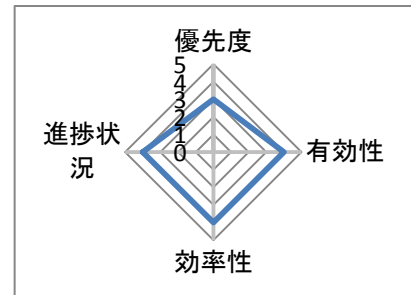
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康管理が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的な予算執行を行った。	4
	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校医が担当する学校園数や園児、児童、生徒数に偏りが見られる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	委嘱期間更新に伴い、学校医等の適正な人数の確保及び配置を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030600		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		予算事業名	児童・生徒等健康管理委託事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和三十二年法律第二十六号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員					
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	園児・児童・生徒心臓等検診	件	4486	4193	3427	3654	
	教職員健康診断	人	213	234	231	200	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.048	0.096	200	0.136	142	0.136	100	
	臨時職員	0.246	0.247	100	0.024	10	0.024	100	
支出内訳	人件費	1,324,064	1,715,715	130	1,483,976	86	1,490,856	100	
	事業費	5,868,626	5,566,459	95	5,091,477	91	6,183,000	121	
	合計	7,192,690	7,282,174	101	6,575,453	90	7,673,856	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,192,690	7,282,174	101	6,575,453	90	7,673,856	117	
合計	7,192,690	7,282,174	101	6,575,453	90	7,673,856	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

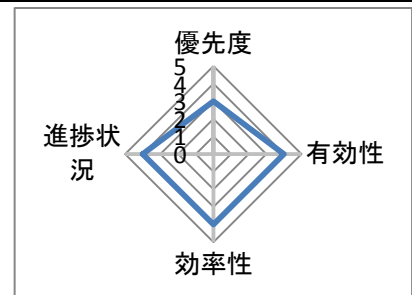
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康診断等が実施できた。	
効率性	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	検診実施時期が各学校園で重複するため、相生市医師会との日程調整に苦慮する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生市医師会との契約に基づき、各校養護教諭を中心に、指定された期間内での検診の実施について徹底する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030700		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	学校健康センター事業		予算事業名	学校健康センター事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等						
	誰(何)を対象として	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害につき、医療費等の災害共済給付を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	加入数	人	2432	2426	2343	2440	
	給付実績	件	178	180	175	180	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.300	0.268	89	0.208	78	0.208	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.200	1,667	0.200	100	
支出内訳	人件費	2,620,082	2,399,090	92	2,503,256	104	2,563,160	102	
	事業費	2,019,560	2,010,695	100	2,018,475	100	2,046,000	101	
	合計	4,639,642	4,409,785	95	4,521,731	103	4,609,160	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		984,790	-	982,110	100	1,020,000	104	
	一般財源	4,639,642	3,424,995	74	3,539,621	103	3,589,160	101	
合計	4,639,642	4,409,785	95	4,521,731	103	4,609,160	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		給付割合							
指標説明(式)		給付実績件数÷加入者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	8	8	100.0	8	100.0	7.4	92.5	
	実績	7	7	100.0	7.5	107.1			

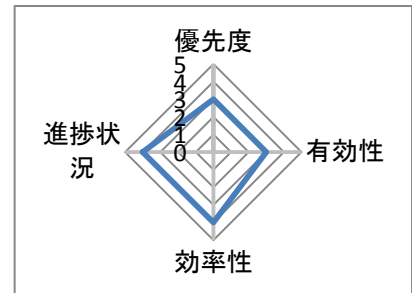
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付ができた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を得ることができた。	
効率性	手段の最適性	法律に基づいた保険加入。	4
	執行体制の効率性	各学校による一括加入。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	軽傷等の場合で治療費が安価な場合に、給付手続きをしないケースが見受けられる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	遅滞の無い給付手続きについて、各校養護教諭を中心に徹底する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202040100	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	看護専門学校運営事業	予算事業名	看護専門学校運営事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部看護専門学校	
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山口 猛	担当者名
取組み事項	地域医療に貢献できる人を育てる		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	保健師助産師看護師法及び学校教育法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	看護師を目指す学生			
	誰(何)を対象として	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する			

2 事業の概要 Do

実施の概要	看護・介護サービスの拡充という、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	受験応募者数	人	269	267	222	250
	国家試験合格率	%	100	100	100	100

3 投入資源

会計区分 看護学校特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	10.688	11.087	104	11.134	100	11.000	99	
	臨時職員	0.940	1.003	107	1.000	100	1.000	100	
支出内訳	人件費	82,680,730	86,503,792	105	88,937,324	103	90,589,992	102	
	事業費	20,571,114	21,512,560	0	21,778,212	-	22,770,000	103	
	合計	103,251,844	108,016,352	47	110,715,536	217	113,359,992	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	42,232,189	42,466,698	101	40,890,962	96	40,847,000	100	
	一般財源	61,019,655	65,549,654	31	69,824,574	333	72,512,592	103	
合計	103,251,844	108,016,352	47	110,715,536	217	113,359,992	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	看護師国家試験合格率の推移								
指標説明(式)	合格者数 ÷ 受験者数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2	看護師と准看護師の比率								
指標説明(式)	県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	80	82	102.5	82	100.0	82	100.0	
	実績	70	72	102.9	72	100.0			

【効率性】

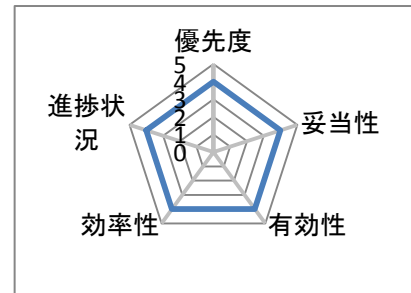
指標名1		学生一人当たりコスト							
指標説明(式)		一般会計繰入金÷学生数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	512892	506225	98.7	472942	93.4	504608	106.7	
	実績	493255	486710	98.7	488114	100.3			
指標名2		事務経費							
指標説明(式)		報酬、給与費等、賃金、健康診断料、実習委託料を除く事務経費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7703000	8696000	112.9	8653000	99.5	8705000	100.6	
	実績	7165452	7753154	108.2	8171777	105.4			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入学試験の出願者数は前年度を16.9%下回ることとなった。また、地域社会に貢献できる有能な看護職者の養成に努め、40名の卒業生全員が看護師国家試験に合格した。	4
	成果の向上	引続き進学説明会への出席や学校訪問に積極的に取り組むとともに、入学試験制度の改革を進め、優秀な学生の確保を図っていく。	
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費用及び実習用教材等の更新により総事業費は増加傾向にあるが、事務経費について節減及び効果的な執行に努めた。	4
	負担割合の適正化	使用料の見直し等については、近隣の学校の状況及び消費税率の改正等経済情勢、並びに校舎の更新時期を勘案しながら行いたい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	出願者数が、推薦入試で111人となり、昨年比20人、22.0%の増、一般入試で111人、同65人、36.9%の減、総数で222人、同45人、16.9%の減となった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受験生にとって訴求力の高い国家試験合格率100%の維持のため、質の高い教育の実践、広報活動、入試制度の改革に取り組む。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202050100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	教育特区事業		予算事業名	教育特区事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長			担当者名	
取組み事項	充実した高等教育の環境づくり		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		構造改革特別区域法・相生市教育特区学校設置審議会条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	特区で事業を実施しようとする者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	構造改革特区法により株式会社立の学校を設置し、その学校を運営することにより生まれる効果を相生市の活性化に結び付ける。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生学院高等学校の認可者として、相生市教育特区学校設置審議会を開催し、学校運営等の評価及び学則変更の妥当性などの審議を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	審議会開催数	回	3	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.180	0.084	47	0.104	124	0.112	108	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,712,166	981,366	57	1,173,784	120	1,231,944	105	
	事業費	114,300	38,500	34	30,900	80	116,000	375	
	合計	1,826,466	1,019,866	56	1,204,684	118	1,347,944	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,826,466	1,019,866	56	1,204,684	118	1,347,944	112	
合計	1,826,466	1,019,866	56	1,204,684	118	1,347,944	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		生徒数							
指標説明(式)		相生学院高等学校の生徒数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	570	570	100.0	570	100.0	570	100.0	
	実績	584	558	95.5	517	92.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

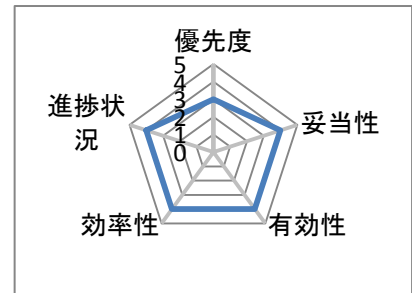
指標名1		施設に対する維持管理経費							
指標説明(式)		相生市として支出する維持管理経費(維持修繕費等)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	テニスやボクシング等のスポーツにおける知名度と様々な専門コースを設定することにより生徒数が増加している。	4
	成果目標(改善)達成度	学校評価の結果を受けて、より充実した教育が行えるよう改善が見られる。また、地域との連携についてもペーロン船の体験乗船を授業科目に取り入れるなど努力が見られる。	
効率性	手段の最適性	廃校となった相生中学校を民間事業者による利活用ができていない点について、効率的と考える。	4
	執行体制の効率性	文部科学省及び兵庫県からの通知について、電子メールによる迅速な連絡を行うことで学校及び生徒への周知が効率的に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	学校評価の実施を行い、市としても指導を行い改善を図っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	教育特区という特殊な環境での事業実施であり、市と学校が密に連携をとる必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	様々な規制や制度のなかで、適正な学校運営が行われているか観察、指導を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010100		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	小学校管理事業		予算事業名	小学校管理事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		各学校事務用コンピュータ更新			教職員用パソコン更新			
		小学校学習机更新事業			相生小学校河川法面危険樹木選定事業			
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために小学校施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	学校数	校	7	7	7	7	
	児童数	人	1,356	1,376	1,416	1,398	
	学級数	クラス	70	70	74	73	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.349	0.392	112	0.388	99	0.392	101	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,460,272	3,823,546	110	3,892,496	102	4,025,224	103	
	事業費	46,269,844	55,300,833	120	52,592,829	95	59,315,000	113	
	合計	49,730,116	59,124,379	119	56,485,325	96	63,340,224	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	49,730,116	59,124,379	119	56,485,325	96	63,340,224	112	
合計	49,730,116	59,124,379	119	56,485,325	96	63,340,224	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／児童数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	37,442	41,864	111.8	40,370	96.4	42,428	105.1	
	実績	34,122	40,190	117.8	37,142	92.4			

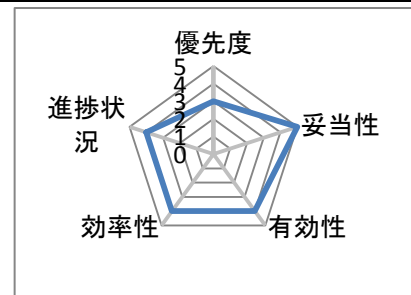
指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／7校							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7,253,000	8,791,855	121.2	8,166,228	92.9	8,473,571	103.8	
	実績	7,104,302	8,446,340	118.9	7,513,261	89.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により学校現場より消耗品費等の増額要望の声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	子校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めている。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減少傾向にある。簡易な修繕については、学校職員が自主的に対応している。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点からも原材料費を執行し、学校職員における簡易修繕が有効である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	引き続き簡易修繕について、校長会等で、学校職員における対応・協力を求める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010200		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	中学校管理事業		予算事業名	中学校管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		通学用マイクロバス運行管理委託			各中学校事務用コンピュータ更新			
		中学校学習机更新事業			教職員用パソコン更新			
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために中学校施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	学校数	校	3	3	3	3	
	生徒数	人	662	639	621	631	
	学級数	クラス	22	22	20	22	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.332	0.352	106	0.352	100	0.352	100	
	臨時職員	0.200	0.192	96	0.200	104	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,333,078	3,501,290	105	3,614,648	103	3,707,384	103	
	事業費	23,629,834	27,664,390	117	32,710,222	118	28,501,000	87	
	合計	26,962,912	31,165,680	116	36,324,870	117	32,208,384	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	26,962,912	31,165,680	116	36,324,870	117	32,208,384	89	
合計	26,962,912	31,165,680	116	36,324,870	117	32,208,384	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

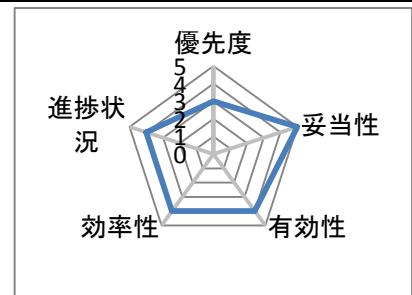
指標名1		生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／生徒数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	37,469	48,365	129.1	56,675	117.2	45,168	79.7	
	実績	35,695	43,293	121.3	52,673	121.7			
指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／3校							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8,817,667	11,509,554	130.5	12,953,531	112.5	9,500,333	73.3	
	実績	8,987,637	10,388,560	115.6	10,903,407	105.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により学校現場より消耗品費等の増額要望の声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めている。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減少傾向にある。簡易な施設修繕については、学校職員が自主的に対応している。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点からも原材料費を執行し、学校職員における簡易修繕が有効的である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	引き続き簡易修繕について、校長会等で、学校職員における対応・協力を求める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010300		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	幼稚園管理事業		予算事業名	幼稚園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各幼稚園事務用コンピュータ更新						
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために幼稚園施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	幼稚園数	園	6	6	6	6
	園児数	人	421	418	385	380
	クラス数	クラス	21	23	20	19

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.256	0.280	109	0.280	100	0.280	100	
	臨時職員	0.200	0.192	96	0.200	104	0.200	100	
支出内訳	人件費	2,764,446	2,958,770	107	3,058,952	103	3,135,272	102	
	事業費	9,333,894	9,228,355	99	10,301,148	112	15,319,000	149	
	合計	12,098,340	12,187,125	101	13,360,100	110	18,454,272	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,098,340	12,187,125	101	13,360,100	110	18,454,272	138	
合計	12,098,340	12,187,125	101	13,360,100	110	18,454,272	138		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

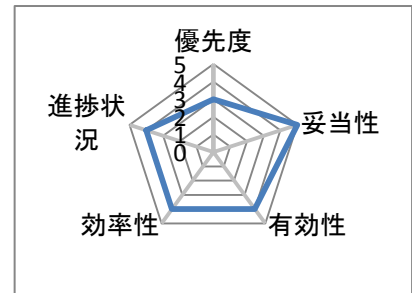
指標名1		各年度の決算額							
指標説明(式)		事業費決算額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10,946,000	10,238,000	93.5	11,178,000	109.2	15,319,000	137.0	
	実績	9,333,894	9,228,355	98.9	10,301,148	111.6			
指標名2		1園当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額/6園							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,824,333	1,706,333	93.5	1,863,000	109.2	2,553,167	137.0	
	実績	1,555,649	1,538,059	98.9	1,716,858	111.6			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	幼稚園現場の協力により、経費削減については徹底している。施設の維持管理として、漏水の早期発見対策として、月3回程度メーター確認を行っており、早期対応に努めている。	4
	執行体制の効率性	幼稚園職員との連携強化により、より効率性を高めると考える。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	大型備品等について老朽化により修繕頻度が増加しつつある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	修繕に係る予算増額の検討が必要である。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010400	事業の種類	6
年度	29	事務事業名	小学校施設整備事業	予算事業名	小学校施設整備事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正
				担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		小学校その他工事 各小学校プールろ材入れ替え		小学校施設整備 矢野川小中学校整備事業	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童			
	誰(何)を対象として	施設整備			
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備			

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために小学校施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	維持修繕件数	件	43	65	58	58
	工事請負件数	件	15	17	9	9

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.412	0.548	133	0.568	104	0.572	101	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.040	83	0.040	100	
支出内訳	人件費	3,548,750	4,602,742	130	4,860,296	106	5,000,784	103	
	事業費	275,077,834	20,960,028	8	41,242,289	197	18,800,000	46	
	合計	278,626,584	25,562,770	9	46,102,585	180	23,800,784	52	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	278,626,584	25,562,770	9	46,102,585	180	23,800,784	52	
合計	278,626,584	25,562,770	9	46,102,585	180	23,800,784	52		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		小学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	100	100	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

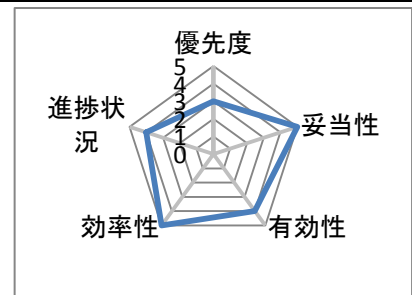
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加、緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010500		事業の種類	6		
年度	29	事務事業名	中学校施設整備事業		予算事業名	中学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		中学校その他工事 各中学校ろ材入れ替え			中学校施設整備			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために中学校施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	維持修繕件数	件	34	40	37	37	
	工事請負件数	件	3	15	4	4	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.324	0.396	122	0.380	96	0.380	100	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.040	83	0.040	100	
支出内訳	人件費	2,890,334	3,457,422	120	3,409,312	99	3,475,152	102	
	事業費	16,302,944	17,955,290	110	16,965,625	94	17,700,000	104	
	合計	19,193,278	21,412,712	112	20,374,937	95	21,175,152	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,193,278	21,412,712	112	20,374,937	95	21,175,152	104	
合計	19,193,278	21,412,712	112	20,374,937	95	21,175,152	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		中学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	100	100	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

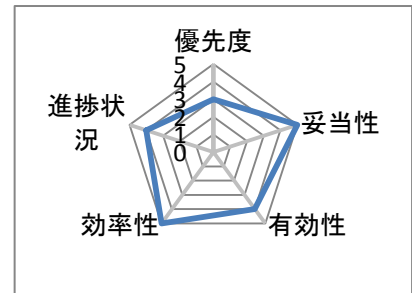
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加及び緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	生徒の安全を最優先に考え、その上で優先順位を持ち、改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010600	事業の種類	6
年度	29	事務事業名	幼稚園施設整備事業	予算事業名	幼稚園施設整備事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		幼稚園その他工事		幼稚園施設整備	
		幼稚園総合遊具等更新			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園児			
	誰(何)を対象として	施設整備			
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な教育環境の整備			

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために幼稚園施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	維持修繕件数	件	11	21	12	12
	工事請負件数	件	2	5	4	4

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.240	0.340	142	0.340	100	0.336	99	
	臨時職員	0.048	0.044	92	0.040	91	0.040	100	
支出内訳	人件費	2,261,846	3,025,034	134	3,100,592	102	3,125,528	101	
	事業費	4,901,040	7,317,846	149	8,720,916	119	7,800,000	89	
	合計	7,162,886	10,342,880	144	11,821,508	114	10,925,528	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,162,886	10,342,880	144	11,821,508	114	10,925,528	92	
合計	7,162,886	10,342,880	144	11,821,508	114	10,925,528	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		幼稚園施設の耐震化率							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

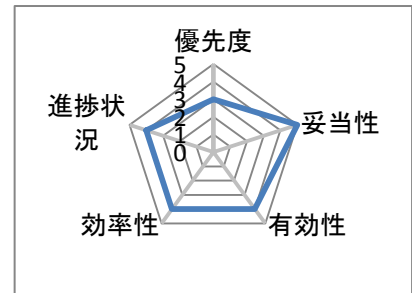
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	園舎は、学校施設の中では、比較的新しい建物が多いが、老朽化等による改修箇所が増加傾向にあるため、突発的な修繕の必要性により、目標値を設定することが困難である。	4
効率性	手段の最適性	老朽化してきている施設もあり、修繕箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	施設の老朽化が進んでいる施設もあり、老朽化に伴う修繕の必要性が増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	園児の安全性を優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010700		事業の種類	2		
年度	29	事務事業名	学校教育施設整備基金事業		予算事業名	学校教育施設整備基金事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設維持管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育環境整備を実施するための基金						

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校施設の維持管理のために要する工事及び修繕等に必要経費に充てる基金の積み立て、基金の活用を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	積立額		1,962,666	1,963,138	1,976,202	1,976,202
	基金総額		11,272,675	13,235,813	15,212,015	15,212,015

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.004	0.008	200	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	375,182	408,706	109	432,856	106	405,560	94	
	事業費	1,962,666	1,963,138	100	1,976,202	101	1,977,000	100	
	合計	2,337,848	2,371,844	101	2,409,058	102	2,382,560	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,337,848	2,371,844	101	2,409,058	102	2,382,560	99	
合計	2,337,848	2,371,844	101	2,409,058	102	2,382,560	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

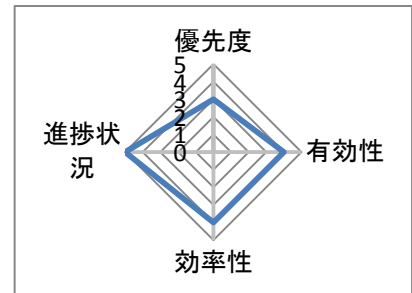
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生学院高校の賃借料の額を持つて積み立てをおこなっているが、平成25年1月に財政課による賃料の見直しが行われた。見直しにより積み立ての必要はなくなったが、基金の設置目的を達成するため、継続して基金の積み立てを行った	4
効率性	手段の最適性	相生学院への貸付料の額を積み立てている為、手段は最適である。平成25年度より土地分貸付料額の積み立てを継続している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020100		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	相生市奨学金事業		予算事業名	相生市奨学金事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市奨学金基金条例、市奨学金支給規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高等学校へ就学する生徒の保護者						
	誰(何)を対象として	学費、交通費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への援助を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	対象人員	人	34	37	36	29

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.124	0.116	94	0.124	107	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,273,022	1,222,486	96	1,328,144	109	1,327,296	100	
	事業費	1,132,000	980,000	87	1,085,000	111	1,701,000	157	
	合計	2,405,022	2,202,486	92	2,413,144	110	3,028,296	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,405,022	2,202,486	92	2,413,144	110	3,028,296	125	
合計	2,405,022	2,202,486	92	2,413,144	110	3,028,296	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨学生の申請者数と認定者数							
指標説明(式)		申請者数(目標)と認定者数(実績)による、ニーズと達成度。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	34	37	108.8	36	97.3	29	80.6	
	実績	28	28	100.0	31	110.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

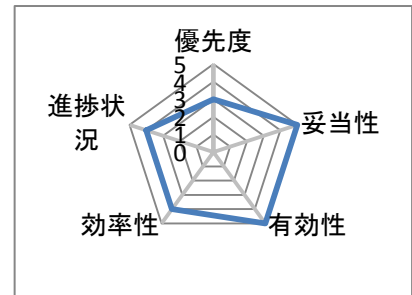
指標名1		奨学生の認定方法							
指標説明(式)		申請世帯の収入状況を示す生活点と成績点を考え合わせ、教育委員会で決定する。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成24年度より予算額を増加し、認定基準を明確化したことにより、事業目的の達成度が高くなったと考える。	5
	市民サービス	高い認定率を確保し、本来必要とする者への支援を行えたことにより、サービスの向上が図れた。	
効率性	コストの節減	制度利用を必要とする者へ支援するコストを充実させることにより市民サービス度が向上する。	4
	手段の最適性	成績及び所得の観点から判断しており、認定者の選定的手段としては、適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現状の社会情勢等を意識しながら、支給基準等を判断していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国、県の他の制度について、継続して動向を注視する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020200		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	予算事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な児童					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な児童に対し、学用品費、通学費などの一部を支給し、支援をする。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	対象(認定)人員	人	32	34	29	24	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.108	0.100	93	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,153,310	1,101,926	96	1,142,912	104	1,136,592	99	
	事業費	1,603,353	2,018,821	126	2,013,145	100	2,405,000	119	
	合計	2,756,663	3,120,747	113	3,156,057	101	3,541,592	112	
財源内訳	国庫支出金	14,000	28,000	200	13,000	46	14,000	108	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,742,663	3,092,747	113	3,143,057	102	3,527,592	112	
合計	2,756,663	3,120,747	113	3,156,057	101	3,541,592	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

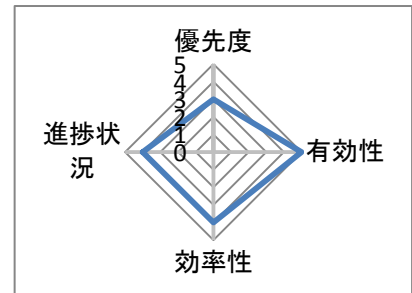
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020300		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業		予算事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	森田敏雄
取組み事項	教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な生徒					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費など学費の一部を支給し、支援をする。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	対象(認定)人員	人	31	24	31	29	

3 投入資源

会計区分		一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.108	0.100	93	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,153,310	1,101,926	96	1,142,912	104	1,136,592	99	
	事業費	3,306,102	2,532,454	77	3,456,525	136	3,381,000	98	
	合計	4,459,412	3,634,380	81	4,599,437	127	4,517,592	98	
財源内訳	国庫支出金		31,000	-	32,000	103	66,000	206	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,459,412	3,603,380	81	4,567,437	127	4,451,592	97	
合計	4,459,412	3,634,380	81	4,599,437	127	4,517,592	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

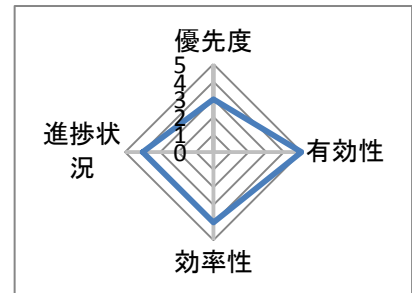
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020400		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	小学校通学費補助事業		予算事業名	小学校通学費補助事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	安岡僚
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者						
	誰(何)を対象として	通学費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が3キロ以上でバスを利用して通学する児童に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	対象人員	人	15	13	12	10

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.068	0.088	129	0.076	86	0.076	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	854,030	1,011,506	118	957,680	95	945,888	99	
	事業費	610,920	530,060	87	487,450	92	416,000	85	
	合計	1,464,950	1,541,566	105	1,445,130	94	1,361,888	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,464,950	1,541,566	105	1,445,130	94	1,361,888	94	
合計	1,464,950	1,541,566	105	1,445,130	94	1,361,888	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象児童者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	18	13	72.2	12	92.3	10	83.3	
	実績	15	13	86.7	12	92.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

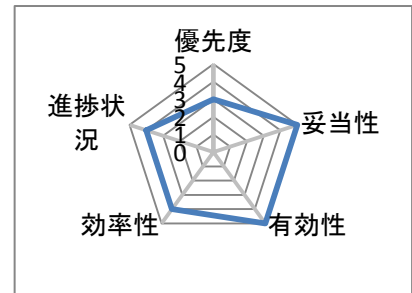
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標は達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からも、コスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	公共交通機関のない地区から通学する児童及び適応教室へ通学する児童への対応が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	公共交通機関のない地区へのタクシー利用による対応や、適応教室へ通学する児童への助成を実施する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020500		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	中学校通学費補助関係事業		予算事業名	中学校通学費補助関係事業 優先度		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	安岡僚
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者						
	誰(何)を対象として	通学費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が5キロ以上でバスを利用して通学する生徒に対し、その経費の全額を補助する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	対象人員	人	5	0			

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.052	0.068	131	0.060	88	0.060	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	734,318	860,806	117	834,192	97	818,752	98	
	事業費	190,040	96,578	51	233,850	242	439,000	188	
	合計	924,358	957,384	104	1,068,042	112	1,257,752	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	924,358	957,384	104	1,068,042	112	1,257,752	118	
合計	924,358	957,384	104	1,068,042	112	1,257,752	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象生徒者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	6	300.0	1	16.7	
	実績	6	0	0.0	3	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

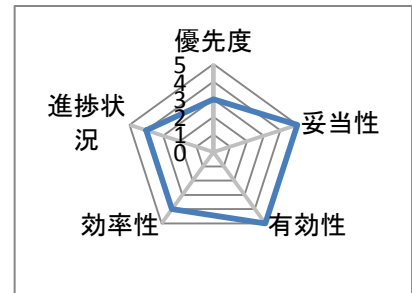
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標を達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からもコスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	適応教室へ通学する生徒への対応



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	適応教室へ通学する生徒への助成を実施する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203030100	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	教育研究所運営事業	予算事業名	教育研究所運営事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣
取組み事項		子どものやる気を引き出す教職員を育成する		担当者名	木本 博子
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定 無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校教職員、幼稚園教諭			
	誰(何)を対象として	学校教職員、幼稚園教諭			
	意図(どのような状態にしたいのか)	研修等により学校教職員、幼稚園教諭の資質を向上させ、より充実した学校教育を推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育研究所を中心に、教科指導や生徒指導などの実践的指導力の向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持った教職員の育成に努める。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	研修会開催	回	9	14	9	11
	研修会開催	人	254	410	290	300
	学校訪問指導	回	130	125	116	110

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.028	-	0.128	457	0.128	100	
	臨時職員		0.093	-	0.117	126	0.117	100	
支出内訳	人件費	345,254	801,857	232	1,667,194	208	1,691,594	101	
	事業費	4,024,119	3,109,575	77	4,509,585	145	3,954,000	88	
	合計	4,369,373	3,911,432	90	6,176,779	158	5,645,594	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	130,000	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,369,373	3,911,432	90	6,046,779	155	5,645,594	93	
合計	4,369,373	3,911,432	90	6,176,779	158	5,645,594	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	36	144.0	28	77.8	28	100.0	
	実績	28	29	103.6	32	110.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

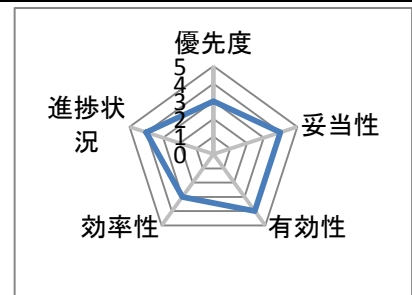
指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	36	144.0	28	77.8	28	100.0	
	実績	28	29	103.6	32	110.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	研究研修等により教職員の資質向上に有効であった。	4
	市民サービス	教職員の資質向上による保護者等の市民ニーズにある程度貢献できた。	
効率性	コストの節減	研修内容の見直しにより、コスト削減に努めた。	3
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	受講者の資質向上に有効な研修講座を設定する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	生活・総合教育(相生小)、書写教育(那波小)、算数科教育(青葉台小)の研究大会の適正実施。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040100		事業の種類	5	
年度	29	事務事業名	私立幼稚園補助事業		予算事業名		
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	三宅 淳一	担当者名	横家 康二	
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校法人補助金交付規則、私立幼稚園補助金交付要綱、私立幼稚園助成補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	私立幼稚園就園児及びその保護者					
	誰(何)を対象として	私立幼稚園設置者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、幼稚園を選ぶ際に市民の選択肢が増え子育てを支援することになる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		私立幼稚園補助、私立幼稚園就園奨励補助				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	私立幼稚園在籍人数	人	0	0	0	0
	私立幼稚園就園奨励対象人数	人	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	405,110	408,706	101	432,856	106	405,560	94	
	事業費			-		-		-	
	合計	405,110	408,706	101	432,856	106	405,560	94	
財源内訳	国庫支出金		0	-	0	-	0	-	
	県支出金		0	-	0	-	0	-	
	市債		0	-	0	-	0	-	
	その他		0	-	0	-	0	-	
	一般財源	405,110	408,706	101	432,856	106	405,560	94	
合計	405,110	408,706	101	432,856	106	405,560	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		私立幼稚園補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		私立幼稚園就園奨励補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1		園児1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/補助対象園児数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

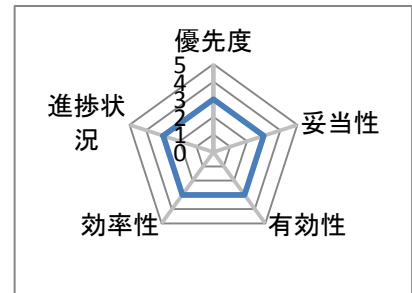
指標名2		補助金額(合計)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、市民の選択の幅が広がるため有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	H20年4月から補助単価の見直しを行った。私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正である。	3
	手段の最適性	私立学校振興助成法に基づく助成であり、国の制度及び近隣市町とのバランスからも最適であると考えます。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現在市内には対象事業所はないため、事業としては休止中である。将来の私立幼稚園の設置に備え、規程は当面整備しておくが、今後も社会情勢を注視していく必要がある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	子ども・子育て支援新制度により、補助対象事業者は新制度の対象とであるため、サービスの低下とはなっていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	子ども・子育て支援新制度により、補助対象事業者はすべて新制度の対象であるため、当該事業は30年度も休止となる。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040800		事業の種類	4				
年度	29	事務事業名	預かり保育事業		予算事業名	預かり保育事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正		担当者名	安岡僚	
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園預かり保育条例、相生市立幼稚園預かり保育条例施行規則、幼稚園教育要領(文科省)								
事業の目的	誰のために(具体的に)	預かり保育を希望する園児及び保護者								
	誰(何)を対象として	希望する園児								
	意図(どのような状態にしたいのか)	通常保育後の教育活動								

2 事業の概要 Do

実施の概要		希望する園児(4歳児及び5歳児)に対して通常保育終了後、16時30分まで延長して教育活動を実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	月平均利用者数	人	71	95	70	70

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.104	96	0.108	104	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,153,310	1,162,206	101	1,173,784	101	1,200,160	102	
	事業費	541,959	553,858	102	552,125	100	586,000	106	
	合計	1,695,269	1,716,064	101	1,725,909	101	1,786,160	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,695,269	1,716,064	101	1,725,909	101	1,786,160	103	
合計	1,695,269	1,716,064	101	1,725,909	101	1,786,160	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		月平均利用者数							
指標説明(式)		全市立幼稚園における預かり保育月平均利用者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	70	70	100.0	90	128.6	70	77.8	
	実績	71	95	133.8	70	73.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

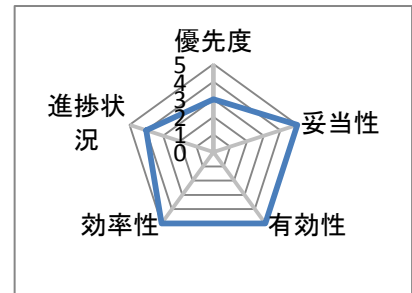
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		総事業費決算額/利用者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	25,242	25,044	99.2	19,524	78.0	25,516	130.7	
	実績	23,877	18,063	75.7	24,655	136.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	サービス利用者数が安定している。また、保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、成果目標は達成している。	5
	市民サービス	安定した利用者数があることから、サービス度は高い。	
効率性	コストの節減	消耗品費については、教育活動を行うための最小限の予算計上としている。	5
	執行体制の効率性	専門の支援員を雇用し、園長の指揮の元、事業運営している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現時点においては、順調に事業を展開している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	職員の負担軽減、緊急時の迅速な対応のための、執行体制を整える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	支援員の休暇や緊急時における、迅速な対応ができる体制を整える。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040900		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	市立幼稚園保育料軽減事業		予算事業名		
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	安岡僚	
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例、相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市立幼稚園に通園する園児					
	誰(何)を対象として	相生市内に住所を有する園児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼稚園への就園機会の拡充、園児数拡大による幼稚園教育の充実及び子育て世帯の経費の負担軽減					

2 事業の概要 Do

実施の概要	市内公立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	園児数(5月1日現在)	人	421	418	385	380
	就園率	%	59.2	58.2	55.2	55.1

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.004	0.008	200	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	375,182	408,706	109	432,856	106	405,560	94	
	事業費	123,120		0		-		-	
	合計	498,302	408,706	82	432,856	106	405,560	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	498,302	408,706	82	432,856	106	405,560	94	
合計	498,302	408,706	82	432,856	106	405,560	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生市立幼稚園園児数								
指標説明(式)	5月1日現在の全6園総園児数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	409	418	102.2	385	92.1	380	98.7	
	実績	421	418	99.3	385	92.1			
指標名2	保育料無料化相当額								
指標説明(式)	市内に住所を有する園児に係る無料化相当額								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	29,016,000	29,520,000	101.7	27,216,000	92.2	27,144,000	99.7	
	実績	29,388,000	29,202,000	99.4	27,426,000	93.9			

【効率性】

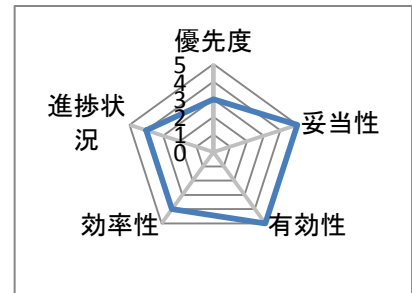
指標名1		市外通園者数							
指標説明(式)		市外に住所を有する者からの保育料徴収件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	6	6	100.0	7	116.7	3	42.9	
	実績	4	9	225.0	9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	3年保育を実施しており、市外からの通園者も多くある。市内園児の就園率については、当事業実施後も大きな変化はないが、これは、家庭の世帯構成等により、幼児が通う施設の棲み分けが出来ているからであると判断している。	5
	市民サービス	月額6,000円であった保育料を無料としたことで、子育て世帯の経費負担の軽減が図れた。	
効率性	手段の最適性	市内通園者の月額保育料6,000円を無料としているが、市外通園者は子ども子育て支援新制度の元、保護者が居住する市町により定められた月額保育料を徴収している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保護者より評価を得ており、目的に沿った事業運営が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	先進的に保育料無料化を実施してきたが、国においても平成31年度に保育料無料化が制度化される予定であり、継続して実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	平成31年度に国制度による保育料無料化の実施を見据えて、引き続き事業を継続していく。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041000		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	矢野・若狭野小学校交流事業		予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	岡田 真也
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	矢野小学校、若狭野小学校の児童					
	誰(何)を対象として	矢野小学校、若狭野小学校の児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	合同授業等を行うなどの交流を続け、教育的な効果が得られるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学年単位で合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	実施回数	回	18	18	21	22

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.192	0.184	96	0.096	52	0.096	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,781,798	1,734,866	97	1,112,040	64	1,104,808	99	
	事業費	123,120	144,504	117	113,400	78	193,000	170	
	合計	1,904,918	1,879,370	99	1,225,440	65	1,297,808	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,904,918	1,879,370	99	1,225,440	65	1,297,808	106	
合計	1,904,918	1,879,370	99	1,225,440	65	1,297,808	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

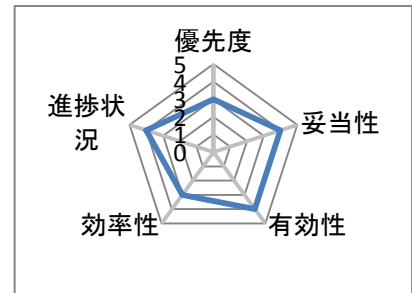
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学習集団の変化による、学習意欲の高まりと子ども同士の学び合いの活性化を図った。	4
効率性	手段の最適性	長期的な視野で、より教育的な効果が得られる授業を計画・実施する。	3
	コストの節減	参加人数を考慮のうえ、公用車や市所有マイクロバスを使用することで、バス賃借料の縮減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	バス配車計画に記載される移動行程を精査することで、バス賃借料の縮減に繋げる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	バス配車計画に記載される移動行程を精査することで、バス賃借料の縮減に繋げる。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041100		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	相生市小中一貫教育推進事業		予算事業名	相生市小中一貫教育推進事業 優先度		3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒						
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		一貫性を持った教育推進に向けた、研究会の実施及び先進地等の視察を検討する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.108	0.148	137	0.120	81	0.120	100	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.008	200	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,163,386	1,474,034	127	1,318,344	89	1,318,248	100	
	事業費	96,560	35,000	36	85,950	246	146,000	170	
	合計	1,259,946	1,509,034	120	1,404,294	93	1,464,248	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,259,946	1,509,034	120	1,404,294	93	1,464,248	104	
合計	1,259,946	1,509,034	120	1,404,294	93	1,464,248	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

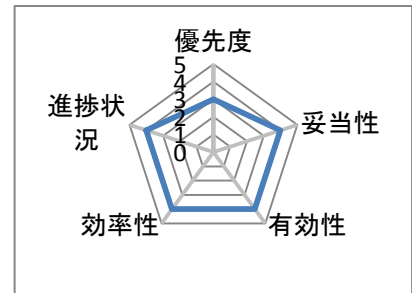
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを進めた。	4
	成果の向上	中学校区ごとに「めざす子ども像」を明確にし、共通指導項目に沿った指導を行った。	
効率性	手段の最適性	幼・小・中学校の連携体制を構築するための、先進自治体での研修を実施した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	中学校区毎の地域性等を踏まえた事業の実施。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	学校教育課が中心となり、先進自治体研修の企画や、中学校区単位での幼・小・中の連携体制の強化に努める。

配点	32.5
総合評価	24